

クリーンブライトEco比較表

従来の切削油洗浄液(A)とクリーンブライトEcoと比較してみました。

条件: パーツを30Lの洗浄槽で洗浄する

特徴	A	切削油が洗浄液に溶け込みます
	クリーンブライトEco	Ecoは切削油が水面上に浮上します(全体に混ざりません)
初回使用量	A	20倍希釈
	クリーンブライトEco	同上
使用条件	A	常温もしくは超音波洗浄機使用
	クリーンブライトEco	常温浸漬でも洗浄力大(超音波洗浄機で更に効果大)
交換頻度	A	洗浄液の汚れ具合で槽内の洗浄液全て交換
	クリーンブライトEco	目減りした分だけ微量の継ぎ足し
コスト	A	—
	クリーンブライトEco	11,500円(10L入り)
使い勝手	A	洗浄槽ごと全て入れ替えのため手間がかかる
	クリーンブライトEco	目減りした分だけ継ぎ足しのため、作業が容易
洗浄能力	A	洗浄液の劣化に伴い洗浄能力が落ちる
	クリーンブライトEco	洗浄能力が高く、かつ均一した洗浄が維持出来る
問題点	A	—
	クリーンブライトEco	切削油が分離浮上するため油のみを廃棄しなければならない (専用の油除去用具も併せてご提案させていただきます)

クリーンブライトEcoは揮発性がないため、人体や建物に影響を与えず、また、環境に配慮した成分で構成されておりますので、環境にも大きな負荷を与えません。

目減りした分だけ、継ぎ足して洗浄効果を継続できますので、作業性を大幅に向上出来ます。

※クリーンブライトEcoの洗浄効果は半永久的ではなく、継ぎ足しても洗浄効果の改善もしくは効果が確認できない場合は、槽内の洗浄液を全交換して下さい。

ブライト商事株式会社

916-0038
福井県鯖江市下河端町2-22-3
TEL:0778-52-6556
FAX:0778-53-0790

クリーンブライト Eco が実際に良いと、どのくらい得をするのでしょうか？
今の洗浄液と比較、検討してみてください

【下記条件】

洗浄液を20倍（槽は30L 槽）で希釈したデータを使用

<A 社:他社製洗浄液使用の場合>

クリーンブライト Eco に切り替える前、使用していた洗浄液は、月に1缶ペースで購入、洗浄効果が劣化した時、その都度、槽の洗浄液を廃棄交換しております。

<A 社:クリーンブライト Eco に切り替え>

クリーンブライト Eco に切り替えて頂いた後、初回投入時に1.5L 投入しますが、その後は、目減りした分だけ、クリーンブライト Eco を継ぎ足して、ご使用されております。クリーンブライト Eco をご使用されて以来、約3ヶ月間（4月中旬購入～7/22日現在）、槽を交換することなく、継ぎ足して十分な洗浄効果を維持し、初回購入から今日まで1.5缶分（約15リットル）のクリーンブライト Eco を使用されております。

<A 社:ランニングコスト>

他社製洗浄液 :1缶10,000円で月1缶の購入（年間12万円のコスト代）

クリーンブライト Eco:1缶11,500円で2ヶ月で1缶の購入（上記データ参考）

クリーンブライト Eco は、1缶11,500円（10L 入り）ですが、購入ペースは上記データ参考に2ヶ月で1缶の割合（月換算で5リットル使用）となり、年間69,000円（月換算5,750円）となります。初回購入時は、割高と見えますが、トータルで見ると、大変割安な商品と言えます。

A 社の場合→年間12万円→年間6万9千円 = **51,000円**のコストダウン
（従来品） （クリーンブライト Eco）